

広 報

みなみふらの 3

2018. MARCH No.744



「友好の町」沖縄県本部町との交流事業
(1月30日：南富良野小学校)

○金山ダム完成までの歩み

昭和28年に金山ダム計画地点で地質調査が行われ、昭和37年10月から工事着手、昭和41年12月に完成、翌年3月3日から湛水が開始、その後、試験放流が行われ、同年6月8日には1,200人の関係者が出席し竣工式を挙行政、今年度で「金山ダム完成50年」を迎えました。

ダム建設計画から完成まで、反対運動を経ての建設促進、補償問題、村の振興計画の実行など、15年に渡る苦難の歩みでした。

ダム建設の総工費は76億円（うち工事費25億円）ですが、ダムの完成とともに水没する根室本線金山駅～東鹿越駅間の鉄道付替工事が行われ、総工費21億7千万円を投じ、3つのトンネルの新設とかなやま湖を横断する橋梁を始め26橋が架設されました。

金山ダムは、北海道総合開発の一環として、下流域の洪水調整・灌漑・発電・上水道などの使命を持ち、北海道産業経済の向上発展に極めて大きな役割を果たしています。しかし、ダム建設により、本町の農業の中心地区が水没し、大半の人たちが離村の止むなきに至りました。

その時代に生きた人たちに想いを馳せ、今後とも町を持続していくために「金山ダム」と「鉄路」を皆さんで守りましょう。

○数字で見る南富良野～当時の「小学生」「中学生」児童生徒数はどのくらい？

●明治34年（木田幸次郎移住の年）

	落合簡易 教育所		小学校 計
	13人		13人

●明治41年（南富良野村のはじまり）

幾寅尋常 小学校	落合尋常 小学校	金山尋常 小学校	金山教習所 (下金山)		鹿越 教習所	小学校 計
192人	85人	121人	20人			418人

●昭和36年（児童生徒が一番多くいたとき）

幾寅 小学校	落合 小学校	金山 小学校	下金山 小学校	北落合 小学校	東鹿越 小学校	鹿越 小学校	小学校 計
486人	234人	373人	227人	43人	182人	20人	1,565人

●昭和42年（村から町になったとき）

幾寅 小学校	落合 小学校	金山 小学校	下金山 小学校	北落合 小学校	東鹿越 小学校		小学校 計
333人	169人	222人	134人	56人	95人		1,009人

●平成29年（町になってから50年後）

南富良野 小学校		南富良野西 小学校		小学校 計
75人		13人		88人

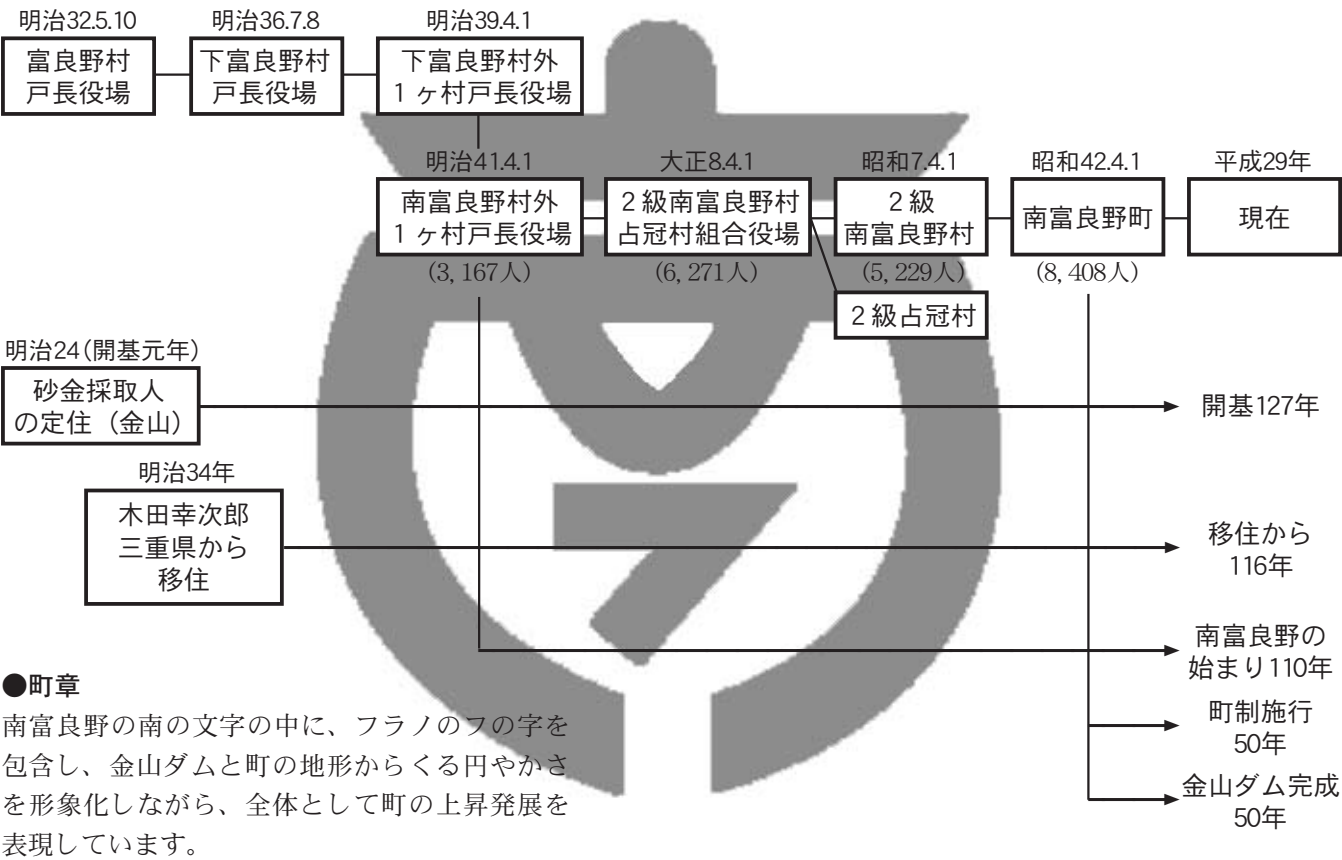
一番小中学生が多かったのは昭和36年で、このときのまちの人口は10,414人、人口の約23%が小中学生でした。

その後、人口減少により平成29年の児童生徒数は159人になり、人口に占める割合は約6%になっています。

※町制施行50周年企画として、4回にわたり連載させていただきました。ご愛読ありがとうございました。

町制施行50周年企画④ 「南富良野町の沿革」を知る

○南富良野町の沿革



●町章

南富良野の南の文字の中に、フラノのフの字を包含し、金山ダムと町の地形からくる円やかさを形象化しながら、全体として町の上昇発展を表現しています。

- | | |
|-------------|---|
| ・明治24年 | 砂金採取者が金山に入地、これを開基にしました。 |
| ・明治32年5月10日 | 歌志内村・富良野村組合戸長役場が解かれ、空知支庁の管轄にあった富良野村は上川支庁の管轄に編入されました。 |
| ・明治36年7月8日 | 富良野村戸長役場（現在の南富良野町・中富良野町・富良野市・南富良野町）から分離して下富良野村戸長役場（現在の富良野市・南富良野町）が創設されました。 |
| ・明治39年4月1日 | 占冠村が室蘭支庁から上川支庁へ編入、下富良野村外1ヶ村戸長役場が創設されました。 |
| ・明治41年4月1日 | 南富良野村が成立して占冠村と合わせ南富良野村1ヶ村戸長役場が創設されました。このときの人口は3,167人を数え、鉄道十勝線開通以降、交通事情の円滑化、集団・単独移民の定着、第1次産業を中核とする経済活動の進展などにより躍進の時代を迎えました。幾多の行政組織の変遷を経て、真に主導性を持った自治体の成立であり、数えて「110年」になります。 |
| ・大正8年4月1日 | 南富良野村外1ヶ村戸長役場を廃止して、南富良野村及び占冠村がそれぞれ独立し、両村において南富良野村・占冠村組合役場が創設されました。このときの人口は6,271人でした。 |
| ・昭和7年4月1日 | 南富良野村・占冠村組合役場を解散し、両村がそれぞれ単独村として1歩を印した年であります。このときの人口は5,229人でした。 |
| ・昭和42年4月1日 | 南富良野町町制施行 |
| ・平成29年4月1日 | 「南富良野村」から「南富良野町」へ今年度でちょうど50年「町制施行50周年」として各種記念事業が行われています。 |

しょうぼう広報 ほのお

富良野消防署南富良野支署
☎52-2119 FAX52-2979
✉fs-nanpu@vesta.ocn.ne.jp
災害案内 ☎52-3119

～除雪作業は多くの危険が潜んでいます！～

○除雪中の事故例について

- ①屋根からの転落
雪下ろし中に屋根の上で足がスリッパして転落したり、雪とともに転落してしまう事故
- ②屋根からの落雪
軒下で除雪中に落雪で埋まる、落雪が直撃する事故
- ③除雪機の事故
エンジンを止めずに、雪詰まりを取り除こうとして巻き込まれる事故

○大雪による人的被害状況について

全国で大雪による人的被害の状況（平成28年消防庁資料）			
死亡状況	65歳未満の人数	65歳以上の人数	合 計
雪崩による死者	0	0	0
屋根の雪下ろし等、除雪作業中の死者	4	19	23
落雪による死者	2	0	2
倒壊した家屋の下敷きによる死者	0	1	1
その他	0	1	1
合 計	6	21	27

○事故防止対策について

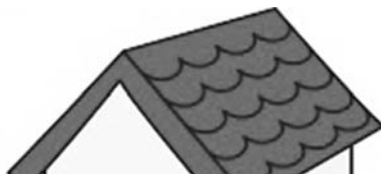
- ①風の強い日や吹雪の日、さらに0℃を越える日差しの強い日は行わない。



- ②1人で作業しない。



- ③屋根の素材や特徴を把握し、ヘルメットや命綱の着用、滑りにくい靴を使用し、安全管理を徹底する。



- ④雪を落とす場所に注意し、周りの安全に気を配る。



南富良野支署出動件数(平成30年1月1日～1月31日)
救急出動 11件 (内ドクターヘリ要請件数 2件)
火災出動 1件 (内他市町村応援出動 0件)
救助出動 1件



町内の児童と交流を深める



歓迎会でのエイサー

「友好の町」沖縄県本部町と、平成3年から子どもたちの交流事業が行われています。27回目を迎えた今年は、1月29日から2月2日までの日程で、本部町から21名の交流団の皆さん（小学5年生16名、随行者5名）が本町を訪れ、町内の児童と交流を深め『冬の北海道』を体験しました。

1月29日（月）、朝5時に本部町を出発した交流団の皆さんが夕方4時過ぎに本町に到着しました。

午後6時からみなくるで開かれた歓迎会では、本部町交流団仲楽眞団長から「氷点下の北海道、雪を初めて見る児童も多く、期待に胸を膨らませています。今後ともこの交流事業が発展継続できるよう期待しています」と挨拶されました。本部町の児童からは「学校での交流、スキーや犬ぞり体験を



カーリング体験

楽しみにしています」「ホームステイで交流を深め、生活文化の違いを学びたいです」など一人ひとり自己紹介と抱負を発表した後、全員で元気にエイサーを披露し、大きな拍手を浴びていました。

1月30日（火）、交流団の一行は、午前中に南富良野小学校を訪問し、全体交流や5年生児童との交流学習が行われ、かまくら体験やチューブすべりなどで交流を深めました。午後からは、落合のどころ野外学校で犬ぞりを体験し、空知川スポーツリンクスでは、カーリングを体験しました。氷の上を歩くのは初体験とあって、悪戦苦闘しながらもストーンの投げ方を教わり、ミニゲームなどを楽しみました。

1月31日（水）は、かなやま湖でわかさぎ釣りを体験、その後多く

の本部っ子が楽しみにしていたスキー体験が行われ南富良野西小学校の児童や先生方から指導を受け、児童全員が滑れるようになりました。その後、物産センターで買い物を行い、夜は各ホームステイ先で南富良野町の子どもたちと交流を深めました。

2月1日（木）の早朝には、ホームステイ先の家族に見送られ、本町を離れた交流団の皆さんは、札幌ドーム内の見学、ラーメン横丁で昼食、大倉山ウィンタースポーツミュージアムを見学しました。夜にはイルミネーションを見学、地下鉄の乗車体験も行いました。

2月2日（金）、たくさんの思い出を胸に新千歳空港から沖縄県本部町の帰路につきました。6月下旬には、本町の6年生が本部町を訪問する予定になっています。



カメラレポート CAMERA REPORT

このコーナーでは、地域や学校で行われるイベント行事などを紹介します。皆さんの身近で行われている楽しい催しなどありましたら企画課広報統計係（☎52-2115）又はEメール（koho@town.minamifurano.hokkaido.jp）までお知らせください。

高校ボランティア活動（2月2日）

地域貢献活動の一環として南富良野高校全校生徒によるボランティア活動が行われました。

3年生は一味園、2年生はみなくと幾寅地区デイサービス、1年生はくるみ園で活動を行い、生徒は施設の清掃や雪かき等を行ったり、施設の利用者と一緒に新聞たたみや豆まきをして、利用者と交流を深めていました。

テーブルマナーを学ぶ（2月2日）

町振興公社の地域貢献の一環として、南富良野高校の本年度卒業を迎える3年生13名を招待し「テーブルマナー講習」が行われ、フルコースの料理を食べながらテーブルマナーを学びました。生徒の皆さんは、ログホテルランチのスタッフからマナーの基本や料理について説明を受けながら、次々と出てくる料理をナイフとフォークを使って味わいました。

生徒を代表して富所龍紀君が「これから社会に出ていくにあたって、今回の研修は大変貴重な体験になりました」とお礼を述べました。

商工会青年部結成50周年記念式典（2月3日）

町商工会青年部（水戸部勇人部長）結成50周年記念式典が保健福祉センターみなくとで行われました。

式典では歴代青年部部長への感謝状の贈呈などが行われ、式辞で水戸部部長は「これまで築き上げた伝統を次の50年に繋ぎ、青年部員の活性化を図り地域のリーダーとして資質向上に寄与し、無くてはならない青年団体を練成していく決意であります」と述べられました。

ちびっ子スキー教室（2月3日・10日）

町社会福祉協議会が主催する「ちびっ子スキー教室」が国設南ふらのスキー場で行われました。この教室は子育て支援事業の一環で、就学間近の幼児を対象に毎年実施されています。

2日間で述べ21名が参加し、スキー連盟やスキーパトロール奉仕団の皆さんがマンツーマンで指導にあたり、スキーの楽しさや安全な乗り方を教わっていました。

雪煙をあげ果敢に挑戦（2月4日）

南富良野町スキー連盟（高松昌弘会長）主催の第37回かなやま湖畔ジュニア・ジャイアントスラローム競技大会が、国設南ふらのスキー場で行われました。

大会には、地元をはじめ富良野沿線などから幼児と小学生58名の選手が出場し、雪煙を上げながら旗門へ果敢に挑戦し、各学年男女別に分かれタイムを競いました。

○町内出場選手組別優勝者

幼 児(男子)小林 慶大
2年生(男子)小林 瑛介
5・6年生(女子)辻澤 花梨
6年生(男子)畠山 健吾

河川整備計画住民説明会（2月6日）

北海道開発局札幌開発建設部主催の空知川河川整備計画の見直しに関わる住民説明会が情報プラザで行われました。

一昨年夏の豪雨災害をうけ、国が管理する空知川の河川堤防の見直しや洪水氾濫被害軽減対策、河川防災ステーションの整備など担当者から説明があり、参加者からは、堤防の仕組みや河川防災ステーションの詳細について質問が寄せられました。

シリーズ学校だより(182)

各学校の取り組みを紹介します。

▶▶南富良野小学校▶▶▶

3・4年食育の授業

PTA活動チーズ作り

10月28日（土）の土曜授業では、3・4年生で栄養教諭の大坪先生による食育の授業を行いました。三大栄養素の豊富な食品の絵を使って仕分けし、バランスの良い献立を考えました。さらにその日の放課後は、PTA研修部主催で6年生保護者の天内さんを講師に、チーズ作りを実施しました。酪農家さんから生乳をいただき、家庭科室でチーズとバターを作りました。

土曜授業〇付けボランティア

地域のご協力

11月18日（土）の土曜授業では、保護者や地域の皆様もご協力いただき、ボランティアにご協力いただきました。今年は昨年の卒業生も参加してくれました。先生以外の方に〇を付けていただき、アドバイスしてもらったために子供たちは、〇をもらうために

おもちゃ大会

保育所と楽しく連携

12月14日（木）は2年生が保育所の年長さんと1年生を招待して、自作のおもちゃで遊んでもらう「おもちゃ大会」を開催しました。2年生は、おもちゃ作りやゲームのルール決めなど準備や当日進行を頑張ったことで、先輩としての自覚が芽生えてきました。2年生の頑張りにより、参加者はみな楽しい時間を過ごすことができたようです。

しっかり解こうと、よい緊張感をもって臨めました。



子育て支援センター「ぷっこ」だより

～☆☆明るく元気な子にそだちますように☆☆～

子育て支援センター

☎52-2315

☎090-5985-4339

こんにちは
保健師です！
保健福祉課保健指導係
☎52-2211

予防接種について考える



冬から春にかけてはインフルエンザの流行する時期ですが、予防のために予防接種を受けられた方も多いと思います。今月号では予防接種について考えてみたいと思います。

◆私たちの生活と菌・ウイルス

私たちの身の回りには多種多様な菌やウイルスがあります。私たちの体にとって良いもの、何もしないもの、病気にするものなど、種類によって異なります。さらに、これらは空気中からヒトへ、動物からヒトへ、食べ物からヒトへ、その広がり方も様々です。

菌やウイルスに対する抵抗力は生まれた直後が最も弱く、母乳からお母さんの抗体をもらったり、風邪をひいて病気をやっつける学習をしながら抗体をつくり、抵抗力をつけています。私たちは菌やウイルスとともに生きていると言えます。

◆予防接種とは？

毎年感染者の多いインフルエンザは、発熱（38度以上）、頭痛、だるさなどが突然あらわれますが、高齢者では気管や肺に細菌感染症を起こしやすくなったり、こどもでは中耳炎、けいれん、喘息、まれに脳症など、重症化することもあります。私たち人間はこのような感染症から身体を守るためにワクチンという予防法を考えました。このワクチンで意図的に抗体を作ることで、感染症にかかりにくくなったり、かかっても軽くすることができるようになったのです。（風邪など一度かかっても抗体ができないものは予防接種がありません）

ワクチンには、生ワクチンと不活化ワクチンがあります。生ワクチンは、生きた細菌やウイルスの毒性を弱めたもので、病気にかかった時と同じように抵抗力（抗体）ができます。十分な抗体ができるには、1か月くらいかかります。不活化ワクチンは、細菌やウイルスを殺し抵抗力（抗体）を作るために必要な成分を取り出して毒性をなくしたもので、接種しても体の中では増えません。長期に持続させるためには一定期間で追加接種が必要です。それぞれ、菌やウイルスを体内に入れるため副作用として感染症にかかった時と同じような症状が出る場合があります。現在、国で認められている予防接種は以下のものです。

ワクチンの種類	感染症の種類
生ワクチン	BCG（結核）、麻しん風しん、水痘、ロタウイルス、おたふくかぜ
不活化ワクチン	インフルエンザ菌b型（ヒブ）感染症、小児の肺炎球菌感染症、ジフテリア、百日咳、破傷風、急性灰白髄炎（ポリオ）、日本脳炎、B型肝炎、インフルエンザ、高齢者の肺炎球菌感染症

町では、子どもや妊婦、高齢者の方を対象に予防接種の助成を行っています。予防接種を活用して、病気になりにくい体をつくっていきましょう。何か不明な点などありましたら保健師に声をかけてください。

気が付けば今年度も残りわずか。別れや出会いの季節がやってきますね。

今年度もたくさん子育て支援センターにご参加、ご協力いただきましてありがとうございました。お子さんの成長を感じますね。

☆1歳ぷっこ「雪あそび」



寒さに負けず元気に大きくな～れ！

☆ぷっこクラブ「新年会」



今年初めてのぷっこクラブは、絵馬作り、魚釣り・福笑いなどを楽しみました。

☆出張子育て支援センター



1月は落合でした。

☆リサイクル市



たくさん参加していただき、ありがとうございました。

保 育 所 の 元 気 な 子 ど も た ち

幾寅保育所

天気の良い日は、園庭で雪遊びを楽しんでいます。雪山からそりすべりをしたり、スコップで穴掘りをしたり、雪の中をひたすら歩いたり…。少しくらい寒くても元気いっぱい冬の遊びを満喫しています。



金山保育所

雪が積もると、すぐに「ゆきあそびしたい～！！」と言っていた子どもたち。天気の良い日はたくさん外に出て、雪あそびを楽しんでいます。元気にそりあそびを楽しんだり、スコップで雪山を作ったりと遊び方もダイナミックになってきました。



南富高新聞

第11号

発行
南富良野高等学校

部活動中高合同練習（卓球）

冬休み中の1月11日（木）午前中に本校体育館で南富良野中卓球部と合同練習を行いました。高校生7名、中学生6名が参加。基礎練習の後に中学生VS高校生の試合を行い、普段とは違った緊張感のある練習になり、お互いに良い刺激を受ける事が出来ました。今後も中高連携を意識して交流を図りたいところです。



平成30年2月27日発行 南 富 高 新 聞 第 11 号

寄附・寄贈

次の方々から寄附・寄贈がありました。皆さんのご厚志に対し紙上をもって厚くお礼申し上げます。

南富良野町へ

まちづくり応援寄付金

○栃木県 鈴木 義勇様 十万円

○東京都 大谷 幸二様 一万円

○神奈川県 神保奈保子様 一万円

社会福祉協議会へ

○幾 寅 田嶋廣幸様より故田嶋

ソノ様生前のご厚志に対するお

礼として 五万円

○旭川市 旭川友の会小学生一同

様より社会福祉協議会の運営に

活用する寄附として 三、一一二円

一味園・からま園・こま園・ふくしあへ

○北落合 北落合老人クラブ 様

○幾 寅 佐藤 知子 様

○幾 寅 鷹 嘴 充子 様

○幾 寅 田 嶋 廣 幸 様

○幾 寅 吉 田 千 春 様

○占冠村 稲 田 實 様

○富良野市 今 津 政 則 様

○富良野市 後 藤 宗 男 様

○富良野市 白 澤 英 二 様

○富良野市 武 田 八重子 様

○富良野市 吉 川 禎 子 様

○中富良野町 向 井 輝 雄 様

○中富良野町 森 田 義 明 様

○上富良野町 藤 澤 和 宏 様

○美瑛町 北 谷 政 行 様

○旭川市 唐 川 信 雄 様

○旭川市 塩ノ入 三 男 様

○旭川市 高 橋 實 様

○旭川市 中 富 唯 夫 様

○旭川市 前 川 原 紀 子 様

○旭川市 市 川 哲 男 様

○東神楽町 市 川 哲 男 様

○鷹栖町 今 村 栄 一 様

○当麻町 桜 田 憲 三 様

○更別村 阿 部 俊 夫 様

○大樹町 山 内 紳 太 郎 様

○士幌町 神 野 光 男 様

○浦幌町 大 野 健 一 様

○本別町 新 沼 良 己 様

○札幌市 石 王 美 知 子 様

○札幌市 沖 匡 宏 様

○札幌市 奥 田 充 様

○札幌市 工 藤 一 三 様

○札幌市 杉 沢 富 美 恵 様

○札幌市 杉 村 千 秋 様

○札幌市 津 田 勝 明 様

○札幌市 中 村 秀 徳 様

○小樽市 前 北 啓 子 様

☆お誕生おめでとう

北落合 大 竹 由季乃

平成30年1月3日生まれ

★お悔やみ申し上げます

金山 藤 澤 久 男 (81)

平成30年1月4日逝去

幾 寅 小 野 勝 則 (81)

平成30年1月8日逝去

落 合 安 西 忠 子 (92)

平成30年1月12日逝去

金山 森 田 ヨシ子 (95)

平成30年1月14日逝去

幾 寅 高 桑 重 雄 (86)

平成30年1月22日逝去

金山 小 室 ミヨ子 (89)

平成30年1月27日逝去

南わたしたちのまち

(平成30年1月末日現在)

人 口 2,560人(△3)

男 1,290人(△2)

女 1,270人(△1)

世帯数 1,403戸(△5)

() 内は前月比